

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエLop 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2025年11月28日 ～ 2025年12月4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年11月27日 ～ 2025年12月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応が充実している。	不安要素や、表情、行動など重視しながら対応している。	意欲を引き出す提案をしていく。
2	アットホーム的な職員との関係が良好である。	傾聴、コミュニケーション意志の確率ができる。	遊具やアイデアを出し合い、楽しみながら身体を動かす。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童が1名である。対お友達との交流がない。個別＋集団が必要である。	児童一名は寂しいのではないか。大人とのやりとりには限界がある。	課外活動や交流を混じえて他者との関係性を深めていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエLop 児童発達支援

2025 年 12 月 19

公表日 日

利用児童数

2025年

12月

19日

回収数 1名のみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1				特になし	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1				特になし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1				特になし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	1				特になし	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1				特になし	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1				特になし	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1				特になし	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1				特になし	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1				特になし	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1				特になし	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1				特になし	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1				特になし	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1				特になし	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1				特になし	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1				特になし	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1				特になし	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1				特になし	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1				特になし	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				特になし	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	1				特になし	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	1				特になし	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				特になし	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				特になし	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	1				特になし	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	1				特になし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				特になし	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				特になし	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				特になし	
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				特になし	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アトリエLop 児童発達支援		2025 年 12 月 19 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		伸び伸びと行動できる空間作り、入室し楽しく学べる気持ちの切り替えがスムーズにできること。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		児発管を含め職員配置できるよう確保している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		1と同様に安全かつ設置している。教材など全てにおいて把握できるように配置を固定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		空気清浄機を使用し、心地よく過ごせる体制をとっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		相談室があり、外部からの刺激がないようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	常に計画 (p) に沿って行っている。DCAについても行動できる共有をしている。	PDCAの機会を設ける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者、児童に寄り添ったご意向を念頭に置き、取り組んでいる。	ご意向に対しこちらからのご提案を差し上げる助言も必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の活動による気づきを周知し、意見交換しやすい場となっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		今後、第三者外部評価を行う検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修報告を常に行うことで次回以降研修意欲、学びを奨励している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		課題を密にし、気付きにポイントをあて、分析している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日常の活動記録、気付きなど振り返り検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個々の児童の内容を常時共有し、支援計画のポイントを抑えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		検査結果や園などの情報、保護者からのコメントなど検討し、確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		子どもの支援に関する情報は支援相談員、保護者との共有の元支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		初年度プログラムの検討をし、活動内容の見直し等行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		同上	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		平日利用時は個別活動に取り組み長期休みなど他学年との交流を混じえた支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		前日、当日と打ち合わせをし、再度内容確認、準備を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		保護者への連絡帳に記載後、確認し合い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		業務日報等日々の活動を記録している。疑問点など話し合い、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。又、日々の様子等で必要とされると判断した場合見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		電話でのやりとりや、事業所に訪問され子どもの様子を見ながらお伝えしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	保護者情報から伺っている。必要であれば機関へ問い合わせをしている。	関係機関との連携が完全ではないが相談員による声かけが必要。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	各々の支援計画を保護者経由で閲覧、公開していただいている。	計画書を頂けない保護者へのアピールをしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	現時点では保護者情報にて共有している。	学校側に直接話し合う場を設定していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	公開日に出向き、取り組んでいる。支援内容について説明を受けている。	定期的に公開説明日を開催して頂く旨伝えてみる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	交流場がない。	地域活動の催しの有無の確認をし、参加可能かを確認する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡記録にて日々活動報告をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		パンフレットの配布などをし、声かけをしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に資料を提示しながら説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		優先順位をつけ、できる内容から適宜アセスメント、モニタリング等をし、意向を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		適切な説明、意見を伺い同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		依頼がある際は必ず面談や、助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		利用児童が1人のため交流はないが就学されてからの交流機会の場を提供していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		常にご連絡を受け早急な対応、ご返信をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		HUGアプリを利用し、定期的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		厳重に留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		保護者と共有し、連携を取りながら配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		ちらし等配布し、可能な限り参加できる体制をとっていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		初年度に行い定期的に口頭等にて振り返り周知、訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		児童の個性を日々把握している。災害発生時の行動等、定期的な訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		緊急時、連絡網に記載している、保護者からの情報を得て周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		医師＝保護者からの指示の元対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的に行い意見交換等研修をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		初年度に通達している。疑問点あれば、再度詳細をお伝えする。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		未然防止策案を話し合い、検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年2回は必須で行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束は未だ該当者はいないが事業所間で研修し、対応に備えている。	